



各事業所やフロアーに掲示

永 寿 会 通 信

黄色い飛行船 第5号

2015年 11月10日

11月6日（金）法人本部の裏山にある湧水路に職員と共に、ゲンジホタル102匹（100匹+おまけ2匹）とカワニナ（淡水に生息する貝）1キを放流しました。

昨年は300匹の孵化幼虫を施設隣接の池（水田の残地）に放ち、暗闇の中のホタルの浮遊を楽しもうとしましたが、残念なことに、アメリカザリガニの食欲に負けて全滅となりました。購入先の業者の話では何処でも雑食のアメリカザリガニを退治してから放流しているそうです。来年の6月頃を期待したいと思います。

法人本部の裏山は、西は茅ヶ崎市円蔵付近から、東は2キロほどの引地川までの丘陵地帯の一角にあります。相模原方向から続く、関東ローム層の丘陵地の最南端で最後の樹林帯を構成し、丘陵地以南は相模湾に向かって砂丘になります。所々に湧水があります。赤羽根の谷戸とともに近隣では水量としては多く、沢蟹や水生植物も残っている貴重な場所ではないかと思えます。50年以上前は野兎や本土タヌキ、アナグマなども見られ、ホタルも飛んでいました。

現在はタイワンリスやハクビシン、アライグマの外来野生動物の巣窟となって、時折アライグマがザリガニを漁りに水田跡地に降りてきています。

藤沢市内では自然のものは石川の谷戸でのホタルぐらいで、城南二丁目にある料亭車屋では7月頃、園内の滝付近に千葉から取り寄せた成虫のホタルを放虫して高級感を演出し、高額の会食コースになっており、今は高級アイテム（品物）です。

日本に生息するホタルは数種類ですが大所は、ゲンジホタルとヘイケホタルです。ゲンジホタルの体長は1.2～1.5cm、ヘイケホタルは1.0～1.2cmほどで、主に夜活動し、昼間は深い草むらに休んで、成虫の期間は2～3週間と本当に短い命です。幼虫は灰褐色の芋虫のような姿で親とは似つかず、清流の流れの緩やかな所でカワニナを捕食しながら育ちます。でも、現在では生息区域も狭くなり、川の汚染や護岸工事のため、幼虫やカワニナが生存できなくなったため、非常に減少し、残念ながら殆んど見られなくなりました。

あまり先走りでは面はゆいところですが、もし見られるような時を迎えたら、職員の皆さんとホタル観賞の夕べを開催します。

さて、北国では雪の便りも聞かれるときとなりましたが、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が広がる季節でもあります。各事業所でも防止対策や訓練、勉強会等を行い、利用者や園児、職員の皆さんが感染しないように努めてください。

以 上